

残雪の燧ヶ岳

期 間：平成 27 年 5 月 29 日（金）～ 5 月 30 日（土）

種 別：個人

山 域：燧ヶ岳

参 加 者：富岡

コースタイム：

5/28 車で横須賀(23:00)⇒尾瀬第一駐車場(3:00)

5/29 タクシーで大清水(5:30)⇒燧ヶ岳山頂(12:00)⇒東電小屋(17:00)

5/30 東電小屋(6:30)⇒バスで鳩待峠(9:00)⇒車で横須賀(14:00)

今回、足を運んだ山は燧ヶ岳。春山合宿で登った中ノ岳から望んだ姿が印象的だったからだ。新緑の尾瀬ではミズバショウが咲き誇り、静かな時間を過ごすことができた。

【尾瀬沼山荘付近より燧ヶ岳】



5/29 大清水の登山口から車が通れるように整備された道を 1 時間登り、一ノ瀬休憩所に着く。休憩所からの山道は、マイナスイオンたっぷりの道に変わる。三平峠の周辺では残雪がまだ多くあり、残雪期の登山という気分を盛り上げてくれる。

尾瀬沼の木道沿いにはミズバショウが咲き、花の白さと葉の緑が沼のほとりを明るい景色に変えてくれる。この日の尾瀬沼は、静かで、空気が澄んで、心地よい空間だった。

林の中を歩く長英新道では、人と出会う機会も少なく、雪道を黙々と歩き続ける。ミノブチ・マナイタグラは問題ないが、シバヤスグラには残雪の急斜面が存在した。当日は途中までトレースで、その日の1番乗りとなった。

見晴新道は登山道崩壊のため、長英新道を戻り、白砂峠を経て、見晴地区に行くことになる。この時間は木道や峠も人がおらず、静かなハイキングが延々と続く。このルートは見晴新道の倍の時間を要した。

夕日を浴びた尾瀬ヶ原に咲くミズバショウを見ながら、「今日もいい登山ができた。」と思いながら、小屋に到着した。

5/29 至仏山はGW～6月末まで環境保全のために入山禁止だ。夏のニッコウキスゲ、秋の紅葉。尾瀬はまだ魅力的な景色を見せてくれる。是非、また時期を変えて、足を運びたい。

【東電小屋より至仏山】

